

たばかりの乳呑兒のやうなのでありますから實に當然なことであります、故に保母たるものは此小供の心を斟酌してあまり無茶苦茶な小言などは言はぬやうに除々に懐け、正直や服従とか規律、忍耐、獨立と最早此時分から別に教ゆると云ふのはありません、知らず識らずの裡に良い習慣のつくやうにしなければなりません、今日も外遊がお重で席を程よき所に敷き瓦かけを摺つてお砂糖や薬や、お壽司やなどこちらの方では砂場で滑稽なる相撲とりが初まつてゐた、部屋に這入つてから摺紙で極く／＼簡單なる金太郎さんを拵へて大悦びて歸へつた。

外へ外へ(五)

手に餘るげん／＼のたば捨てにけり (子規)
摘草やよき衣きたる女の童 (同)
幼子や青きを踏みし足の裏 (同)

保育の實際

○文字を書く幼児

京都市嘉樂小學校 藤田東洋

一、幼兒の文字を知り來つた所以
幼兒の文字を知り之れを書くと言ふのは人の真似をなしたのに過ぎぬ。即家庭に於て兄弟のなせる事を見聞して模倣性に強き彼等は好奇心にかられ之れを曲みなりにでも自慢らしく之れを書かんとするのである、其書いたものを周圍の者共に見せ其褒め言葉を得て得意然として益之れを書かんとするのである。
要するに子供の境遇及外來の刺激に依て覺官的に知覺したるものである。併し大多數の者が文字を書くや否と言ふにそれは少數に過ぎない。余のチラホラ聞く所に依ると或幼稚園は保育終了後直に尋常小學一年へ入學することであるから子供が

書けばこれを賞賛して獎勵することが小學校へ入學する豫備として適當なる事と考へて居るらしい之れは以ての外であると思ふ。

二、此幼兒の取扱をどうする乎

此文字を書く幼兒の處置をどうするかと言ふに獎勵すべきものであるか禁止すべきか放任すべきかの外に出でない。此時代に於ける幼兒は其心身が甚だ未熟なものである。然るに或人曰心身發達に多大なる害が無いから之れを獎勵し助長して餘り差支なしと故に禁止する必要はないと吾人は思ふ。此時代は文字を書くべきものでない。獎勵すべきものでない。文字を知らぬが當然の時代に於て文字を知つて居るのは之れは父兄などの面白半分や我が子を小學校へ入學させてからよい位置になる様にと教ふるなどは不自然の事である。教へて害なしと言ふ人もあるが、強ひて教ふるは子供天性に背くのみでなく、身體の發育旺盛なる時に其様な方面に頭をつかはすは早熟である。なま

半着で害がある。文字は此時代を過ぎて學齡に入つて後知らしめたり書かしめたりするのが適當だと思ふ。然るに未だ保育時代の子供に文字云々は稍早熟の傾向と言はねばならん。

自己の思想感情を他人に發表し他人の思想感情を發表したものを知るのは文字である。此様なものを幼兒の心身發達の程度に不相應な事をやらせ之れを獎勵する時は幼兒は益勵まされ得々然として書き又知らんとする考を起し、腦を過度に高尚につかひ、所謂無邪氣な點を缺く恐れがあると思ふ。大多數の幼兒は文字を書くべきものでない。だから本人の欲する儘に放任する事がよい。家庭へもよく注意して置いて獎勵などは毫頭せぬ様にし、より以上効果ある遊戯に親します方が一層教育的ではあるまいか。

幼稚園の事業は家庭に屬し學校教育に屬するものでない。幼稚園は家庭教育の及ばない所を補ふものである。決して之れを學校教育のやうに同一視

してはならぬ。家庭教育の補助機關たることを念頭に置かねばならぬ。此考へでフレーベルの教育主義の天然の法則に従つて發育せしめ教導せねばならぬ。ハールマン氏の言ふ様に未來の生長を害ふ様な雜草たるものは刈除せねばならぬ。幼稚園は能く遊ばせ彼等の既有的思想を整頓すると共に、自然物に接觸するの機會を多くして能く直覺させ幼兒の心身を圓滿に發達させ善良な習慣を着け、且小社會に接觸して共同生活になれしめねばならぬのであるまいか。世人の言ふ今の幼稚園は種々なる事を教へ早熟に失して遂に苗を助けて長せしむることがある。餘り早くから組織的に具案的に種々なることを教へて幼稚園の成績を擧げやうと思ふのは誤解の甚しものである。要するに幼兒が字を書くとて之れを獎勵し全く禁止したりするのは教育的でない様に思ふ放任主義を採るのが策の上なるものでないかと思ふ。

○自由保育

精華學校幼稚園部 鈴木マサ

此頃のことです。御座います。全幼兒に折紙組紙などを與へて一齊に手技をさせて遊ばすといふことは、それは或幼兒にとつて眞に効果が無いのみならず、却て苦痛であつたことを實際に見とめたのでございます。其子供が家に歸つたとき前掛のポケットから組紙で作つたものが出て居りまして、家の人がこれは大そうきれいだね、お前が一人で作つたのかと尋ねましたら、一人で作つたことは作つただけけれども實は、お友達が皆さんこしらへていらつしやるし、又先生も一緒になさいとおつしやつたからいやで〜たまらなかつたけれどしたのですと思つたまゝを答へました。このことを實際に聞かされた私には随分つらかつたのでございませう。幼兒に對して氣の毒な感じがいたしましたので御座います。遠慮なしに皆の子供の心を露らせ